



発行：NPO法人デンマークの食と暮らし研究所 〒100-0006 東京都千代田区有楽町1-7-1 有楽町電気ビル南館12F
Tel 03-3213-4801 Fax 03-3213-5406 ホームページ : <http://www.danishforum.jp/> メール：info@danishforum.jp

消費者と家畜の福祉 ～倫理とコスト～

最近の調査で、約8割のデンマークの消費者が食肉を購入する際に、動物の健康、幸福、快適な生育環境に注意を払う傾向にあることがわかりました。しかし、デンマークの畜産農家がどのように動物を育生しているのかを一般の消費者は情報を得ることができるのでしょうか？デンマーク動物福祉示準(The Danish Animal Welfare Act)には、人によって飼育される動物達は恐怖、苦痛、身体障害、不自由などがないように注意深く慎重に扱われることが定められています。全てのデンマークの畜産営農者はこれを遵守しており、畜産の現場ではこの示準より更に厳しい規格が導入されています。養豚においては、全ての養豚農家が、食肉処理場に豚を出荷するまでこうした動物福祉示準について自発的に協定を結んでいます。デンマークの消費者は他の多くの国々と比べオーガニック(有機栽培)食品の消費が多い国民です。人々は、Idealism(理想主義)であったり、健康志向のため有機食品を支持しているようです。たしかに有機的に育てられた動物達が従来の飼育環境の動物達より、より良い福祉環境にいることは事実と言えるでしょう。しかしながら、オーガニックの肉と従来の肉の値段の差は、懸念されるべきことでもあります。とくに若いファミリーなど価格を重視せざるを得ない消費者層にとっては。

消費者が従来の飼育方法ではない、動物達の福祉を重視して生産されたより優れた食品を選択できる手助けのために、デンマーク政府とデンマーク農業理事会、小売業者とが協同してシンプルかつ認識しやすい動物福祉ラベル“Welfare Label”を導入しています。そのラベルは2017年にまず豚肉に、そしてその後チキンや乳製品などの他の動物性食品にも導入されました。資格認定は、法定示準をはるかに超えた条件を満たし、動物福祉においてデンマーク政府の専門家によって求められた重要な必要条件をもとに与えられます。動物福祉ラベルは、動物福祉に求められる要件に沿って3段階に格付けされています。こうしたグレードの表示はそれぞれの判断、理想に基づいて消費者へ選択の機会を与えます。なぜなら動物福祉はデンマークの消費者の求めに沿ったものであると共に、消費者が食肉生産のコストに対しても理解できるように関心を高めることにもなるからです。3段階のレベルは、それぞれにハートの数で示されます。豚の場合ラベルはまず、動物がけい留されていないこと、ハートの数によって十分な空間、敷き藁、短い輸送時間などの環境の下で動物が肥育されてきたことなどがわかるようになっています。ハートが3つのトップレベルは、肥育されてゆく生活の中で動物が自由に歩き回れる環境(フリーランド)が与えられていたことを示しています。ラベルは消費者がオーガニック製品を選ぶ際に低コストかそうでないかの二者択一ではなく意識的な判断が出来るようになる事を最終的な目標としています。こうした取り組みが、家畜の動物福祉をより良くする方向への全般的な動きをサポートすることになるでしょう。(J.Ring)



動物福祉ラベル



3段階に格付けされた動物福祉ラベル



フリーランド形式での豚の育成

総選挙について 《投票率の高さと幸せの国のあり方とは》

11月1日、14の政党により179議席を争う総選挙が実施されました。2023年6月までの任期を数か月残しての前倒し解散総選挙となりました。翌日には少数与党の首相で社会民主党 (Social Democrats) 党首メッテ・フレデリクセン氏 (Mette Frederiksen) の首相辞任も表明されました。そこで、今回の選挙で際立ったデンマークの有権者と国政について考えてみました。まず、投票率の高さです。日本では考えられない84.1%という数字です。Denmark公式サイトには、笑顔の写真と共に“**I am happy to pay taxes**”の一文があります。高福祉を 수용する義務として相応の負担を当然のこととし、国の政治のあり方はしっかりジャッジする。その手段としての行動が投票率の高さとして現れているようです。

高福祉国家であり毎年発表される幸せの国(The World Happiness Report)の順位トップ3位以内に常にランク付けされる国民の国政に参加する意識は非常に高いと言えるでしょう。次に政党の数の多さがあります。今回の選挙には14の政党が候補者を擁立しましたが、前回の選挙2019年6月よりさらに2つの政党が新たに選挙戦に参入し既存の党の得票に影響を与えた様です。新しく作られた党が選挙戦に参入する条件として有権者20,000人以上の署名が必要です。余談ですが、2022年8月にAIを党首とした党を作り出馬を目指すとした政党(Des Syntiske Parti)の声明がありましたが、今回の選挙では、それはかなわなかった模様です。政党の数の多さは有権者間にも国政に於いても混乱を招きはしないのかとも感じるのですが、有権者が個々の考え方、主張の代理人として国会へ送り出す議員選別に際してより多くの選択肢を持つことは悪いことではないとも思われます。連立与党の首相であったメッテ・フレデリクセン氏の選挙公約のひとつには、あらためて安定した連立政権の樹立を目指すとなりましたが、幸せの国デンマークの新たな政府がどのように作られるのかを注視したいと思います。



デンマーク国会議事堂

デンマーク映画 ヒトラーの忘れもの<Under sandet>

2017年アカデミー賞 外国映画賞 出展作品。2015年マーチン・サントフリート監督によるデンマーク・ドイツの歴史ドラマ映画です。第二次世界大戦後のデンマークに地雷撤去のために送られたドイツ兵が、史実に沿って描かれています。第二次大戦中ナチスドイツ軍がデンマークの海岸に埋めた地雷(45,000個)の撤去作業を強いられた若いドイツ兵たちが、命をかけてその作業を行ってゆく日々を比較的淡々と辿ってゆく展開で、あまりドラマティックなストーリーではありません。地雷撤去のために捕虜を動員する行為は戦争捕虜の強制労働を禁じる国際法に違反するものでありました。デンマーク自らその史実を映画にした点にも公開当時、価値を見出す方々も少なからずいらしたようです。戦争の悲劇を描き名作と謳われる映画は多くあります。その筆頭のひとつと言える映画に<ひまわり>があります。実際、ロシアのウクライナへの侵略当初は戦争のもたらす悲劇を語るこの古典とも云える名画があらためて広く視聴されたようです。<ヒトラーの忘れもの>は、戦争というもの、それが終結した後にも深いキズを残すのかを若い兵士の身の上で起きた史実の観点から描いています。今、現実に行われているロシア-ウクライナWARのより早い終結を願うと同時に、この戦争が将来どのような歴史となってゆくのかを考えていく上でも一見の意義ある映画であるとも言えそうです。



地雷撤去にあたる少年兵



地雷撤去後の砂浜を歩く
デンマーク軍曹と捕虜のドイツ兵たち

2023年 活動予定

自粛のために制限されていた活動に積極的に取り組んでいきます。

DANISH PORK **SUSTAINABILITY SEMINAR**

2023年3月9日(木)
16:00～ セミナー
18:00～ 懇親会
於 帝国ホテル扇の間

ポークアカデミー 開校

2023年5月14日(日)～26日(金)
デンマークで長年培われた技術と理論を学ぶポークアカデミーがロスキレにて4年ぶりに開校されます。

詳しいお問い合わせは
デンマーク農業理事会

☎03-3213-4801

※デンマークポークアカデミーは豚肉に関する業界関係者のみを対象とさせていただきます。ご了承ください。

編集後記

今回は、幸せの国の動物福祉をご紹介いたしました。ハートが示す様々なメッセージをどのように感じられたでしょうか。来年は卯年、これまでの閉塞感をピョンピョン跳ね飛ばすよう、皆さまにとりまして良い年になりますように。(T.S/E.Y/A.F)